

# 「副首都」の検討に向けた提案

平成28年2月9日

堺市長 竹山 修身

# 基本的な方向性

## 基本目標

首都圏と関西圏による国土の双眼構造の形成

## 取り組むべき課題

- ① 大規模災害時の首都機能の確保
  - ・ 首都機能の移転（分散配置）
  - ・ B C Pにおける首都機能バックアップ
- ② 東京一極集中の是正
  - ・ 企業等（人・モノ・カネ・情報）の地方分散

関西広域連合・関西経済界と連携し、  
オール関西で「新首都・関西※」の実現をめざす

※関西広域連合広域計画において、広域連合が目指すべき将来像として「アジアのハブ機能を担う新首都・関西」が掲げられている

# 取組みの方向性

## (関西の現状)

優位性	課題
<ul style="list-style-type: none"><li>・高度な交通インフラが一定整備 (関西国際空港、新幹線、高速道路)</li><li>・情報・金融機能等の中核機能が一定構築</li><li>・先端産業等多様な産業集積</li><li>・アジアとの繋がり(経済、観光等)</li><li>・日本有数の歴史・文化資源の存在</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・未整備の交通インフラ 高速鉄道(新大阪のハブ化) 高速道路(ミッシングリンクの解消)</li><li>・首都圏への企業流出</li><li>・南海トラフ地震の脅威</li></ul>

「首都圏と関西圏による国土の双眼構造の形成」を  
国家的な目標に位置付けることが必要

⇒ 関西各府県で役割分担し、  
首都機能を関西に分散配置

# 「副首都」の実現に向けて

## めざすべき方向性

### 関西国際空港を中心とした、国際都市の実現

- ・ 国際機関・領事館・政府機関等の誘致
- ・ 先端ものづくり産業の集積
- ・ 関西ブランド（農水産物）の創出
- ・ 北陸新幹線等の高速鉄道の整備（延伸）

### 関西国際空港を核に

奈良県・和歌山県・徳島県との連携を強化した  
「新首都・関西」の実現を図る

（参考）

関西国際空港、泉州地域のポテンシャル

- ・ 完全24時間空港、アジアとの近接性 等
- ・ 開発余剰地の活用（泉佐野コスモポリス、岸和田コスモポリス他）